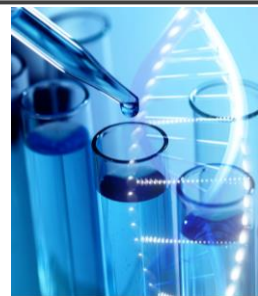


2025年2月19日
株式会社SVPジャパン

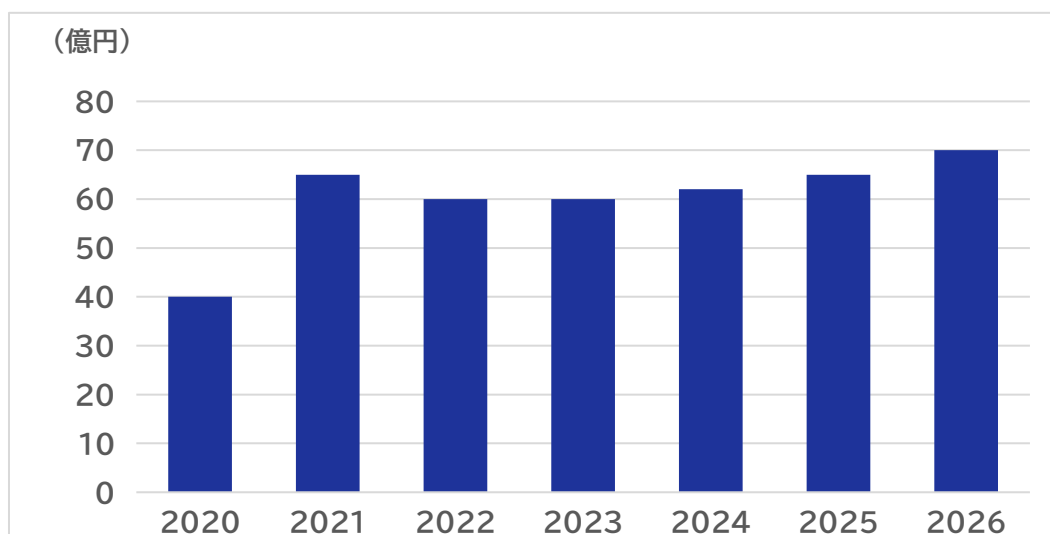
SVP注目市場分析 「DTC遺伝子検査サービス」を公開

～病気リスクや体質、祖先情報を手軽に調べられる注目のサービス～



会員制マーケットリサーチサービスを提供している、株式会社SVPジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 雅、以下「SVPジャパン」）は、本日、SVP注目市場分析レポート「DTC遺伝子検査サービス-国内市場の現状と将来展望-」を、会員企業向けに公開いたしました。

■ DTC遺伝子検査サービスの国内市場



病気のリスクや体質、祖先情報を手軽に調べられる非医療分野のサービスとして、DTC遺伝子検査サービスの市場が成長している。2010年代前半に国内での参入が増加し、2020年のコロナ禍による健康意識の高まりや巣ごもり需要を受け、市場は急拡大。2021年には市場規模が60億円を超えた。しかし、遺伝子情報が一度の検査で完結する特性や、規制強化によるデータ管理の厳格化が影響し、2023年以降は成長が鈍化し、横ばい傾向にある。

主要企業はジェネシスヘルスケアとジーンクエストで、他企業の撤退が進む中、提携戦略やサブスクリプション型サービスの導入により市場拡大を牽引。2026年には市場規模70億円が予測され、健康経営やフィットネス業界との連携が今後の成長の鍵となる。

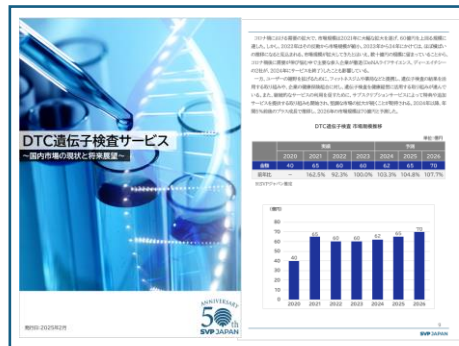
■ DTC遺伝子検査サービスの市場概況

DTC遺伝子検査サービスは、サービス提供事業者がインターネット通販などを通じて検査キットを販売し、購入者はキットを使って唾液や口腔粘膜のサンプルを採取して返送。事業者は自社や専門機関でサンプルを分析し、購入者へウェブや書面で結果を提供する。検査対象は、癌や心疾患、糖尿病などの疾患リスク、運動能力、記憶力、肥満や肌のタイプ、母方祖先のルーツなど多岐にわたる。価格は、総合分析が1万6,000～3万3,000円、特定項目分析が6,000～1万6,000円程度。DTC遺伝子検査は医療機関での診断目的とは異なり、病気の予防や健康維持を目的としている。検査結果は既存の研究を基に確率を示すもので、研究の進展により変化する可能性がある。



■ 本レポートの構成

- I. 市場の定義
- II. 市場動向
- III. 市場規模・予測
- IV. マーケットシェア
- V. 参入企業の動向
- VI. 業界構造



←レポート全編を見る クリック

※本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。

■ 購読について/資料ダウンロード・お問い合わせ

本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。

購読をご希望の場合、当社SVP会員になっていただきますと、定期的に配信する市場調査レポートを全てご購入いただけます。なお、SVP会員は、ビジネス調査に関する、クイックリサーチとプロジェクトリサーチもご利用いただけます。

資料請求

お問い合わせ



■ 次回のテーマ

3月のテーマは「COVID-19ワクチン」と「OTC医薬品」を予定しています。

～SVP注目市場分析レポート更新スケジュール…毎月第1・第3水曜日の発刊を予定～

[会社概要]

社名 : 株式会社SVPジャパン
代表取締役 : 橋本 雅
所在地 : 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-9 宮前ビル2F
設立年月日 : 1974年7月1日
事業内容 : 会員制のビジネス情報提供サービス
URL : <https://www.svpjapan.com/>

[本プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社SVPジャパン DX推進部 デジタルマーケティング課
info@svpjapan.com